

## 弘前大学白菊会の皆様へ

当講座では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない方もしくはその代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	人体における浅部、深部リンパ管の3次元的分布及び、形態学からみたリンパ管の構造について		
2. 対象患者	献体登録に基づき、弘前大学白菊会に入会され、献体していただいた、ご遺体を使用させていただきます。本研究の目的を遂行するために頭頸部、体幹、四肢、内臓において、発達障害や重篤な外科疾患の既往や外科的手術の既往歴がないご遺体を用います。		
3. 対象となる期間	平成29年 8月 28日 ~ 平成32年 3月 31日		
4. 研究を実施する講座	生体構造医科学講座		
5. 研究責任者	氏名	成田 大一	所属 生体構造医科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	資生堂株式会社(加治屋 健太郎)		
7. 研究の意義	リンパ浮腫に対する静脈とリンパ管とのバイパス手術の際、リンパ管に吻合不適合部位が存在するといわれていますが、具体的な根拠は示されておりません。またリンパ管およびリンパ節の分布と構築については、動物実験において報告がみられますが、人体での研究報告はほとんど行われておりません。人体におけるマクロからミクロレベルでのリンパ管・リンパ節の構造を明確にすることで、リンパ液の循環における基礎的な知見を得ることができるとともに、リンパの形態的特異性を理解することができます。これにより、静脈からリンパ管バイパス手術の成績向上に寄与することができます。		
8. 研究の目的	本研究は御遺体を用いて、身体の浅部、深部のリンパ管・リンパ節が3次元的にどのように分布しているか正確に把握するとともに、リンパ管の構造について形態学的に観察することを目的としています。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	ご遺体の解剖は弘前大学解剖学実習室内で実施いたします。 1. 浅部リンパに色素を注入し摘出します。 2. 摘出されたリンパ管を確認し、これを基にリンパ管及び、リンパ節を追跡剖出し、肉眼解剖学的データを採取します。 3. 頭頸部、体幹、四肢、内臓のリンパ管及び、リンパ節を採取し顕微鏡観察用の組織標本作製します。 4. 組織標本を、光学及び、電子顕微鏡にて観察し、データ採取します。 ※共同研究機関にデータを提供する場合は、個人を特定できる情報を削除してから提供します。		
10. 個人情報の保護	課題経過中及び終了後において、調査結果については、研究目的以外に使用することはありません。対象者の個人情報を外部に漏らすことはありません。共同研究機関にデータを提供する場合も、個人を特定できる情報を削除してから提供します。本研究で得られた個人情報は、データの統計的分析にのみ使用され、学会発表においても個人を特定できる情報を削除し発表いたします。		
11. 利益相反に関する状況	本研究は、資生堂株式会社からの資金提供を受けて実施されるため、利益相反状態にあります。しかし、これにより研究成果が歪められるようなことはなく、この研究は生体構造医科学講座の研究グループにより、公平、公正に実施されます。また、本研究の利益相反については、大学院医学研究科医学研究科利益相反マネジメント委員会に届け出ております。		
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科 生体構造医科学講座 成田 大一		
	電話	0172-39-5005	FAX 0172-39-5006